



四国ろうあ連盟  
KIZUNA

2019年8月1日  
第58号

768-0051 観音寺市木之郷町 1116 番地 1 西讃ふくろうセンター  
四国ろうあ連盟 FAX 0875-27-7708  
ホームページ <http://seisan-fukurou.jp/publics/index/13/>

発行人：竹島 春美  
編集人：近藤 龍治

## 令和初の四国ろう者のつどい



2019年7月7日(日)、四国ろう者のつどい～四国はひとつ～2019を開催しました。

午前は、報告会で事業、決算、方針、計画、予算を報告しました。

財政面が厳しくなっていることで、参加者から建設的な意見をいただき、今後の運動に役立てられるよう取り組みたいと決心しました。

午後からは4つの分科会に分かれました。



四聾塾では、「アイドルゴン4普及で期待できること」をテーマにお話くださいました。「目で聴くテレビ」が聞こえない人にとって情報獲得できる唯一の放送なので、もっと

普及しなければと思いました。



高齢者のつどいでは、新茶製造の観光があり、女性フォーラムは、ちぎり絵などの手作りを楽しみ、青年フォーラムは、海外



に行った当事者が「世界観」についていろいろ話しました。



# 四国ろうあ高齢者スポーツ大会

7月14日～15日、四国ろうあ高齢者スポーツ大会を開催しました。



ゲートボール大会とグラウンドゴルフ交流会を楽しみました。成績は次の通りです。

前日、大雨で大会はどのようなかと心配していましたが、当日は無事にふたつの競技を遂行できてよかったです。

【ゲートボール】  
優勝 徳島県  
準優勝 愛媛県  
第3位 香川県

【グラウンドゴルフ】  
優勝 実平 久雄（徳島）  
準優勝 野田 勝稔（香川）  
第3位 宮本 勉（香川）

7月17日（水）、近藤事務局長が高松サポート合同庁舎で第1回移動等円滑化評価会議四国分科会に参加しました。

四国分科会とは、高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、国土交通省において設置された移動等円滑化評価会議のもとに四国における移動等円滑化の進展状況を把握し、評価するための分科会です。

高齢者、障害者、その家族及び関係者が集まり、意見交換をしました。ろう者にとって一番必要なのは情報保障です。文字表記の機械の発展だけではどうしようもないのが実情です。心のバリアフリーが重要になることを改めて再確認しました。高齢者、障害者が社会において人とのかわりをもつすべての事業にどれだけ研修を保障されているか、研修の在り方を整理していく必要があると感じました。

そこで皆さんにお願いがあります。社会において障壁となっている事例があればご連絡ください。

7月3日、さぬき市手話言語及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する条例が採決されました。（香川県）

◆編集後記◆ 四国ろうあ連盟「KIZUNA」第58号をお届けします。

★「手話は言語である」と国連が謳ってから、10年余り…。全国各地に手話言語条例が次々と制定されています。★香川県さぬき市も条例が制定され、手話の広がりが目に見えてきてとてもうれしく思いました。★昔、手話使用の制限により、ろう者の人権を侵されてきた長年の苦悩が少しずつ解き放たれているような気がします。★課題も多々ありますが、一つひとつクリアしていくには、歩み寄る姿勢も重要と思います。共生社会を築くために、相手を知ること、互いの違いを認め合うことの大切さを改めて感じました。★掲載して欲しい原稿は、四国ろうあ連盟事務局、もしくは各県協会にご連絡ください。お待ちしております。